

2016 第 2 回 JMRC 中部ラリー部会議事録

日 時：平成 28 年 2 月 27 日（土）11:00～16:00

場 所：ガストー宮インター店

出席者：金子 船木 松浦 高橋 坂口 宮前 新堂 安藤

議 題：

1) 第 1 回部会・議事録の確認

☐ 全員確認で承認

2) 部会議決方法についての確認

(案) 1. 議決については、議決権を有する出席委員の過半数によって決する。正副委員長は、議決権を有しない。

2. 可否同数の場合は、正・副委員長によってこれを決する。

☐ 全員承認

3) 全国 JMRC ラリー振興委員会への技術担当部会員派遣について

(案) 3 月 12 日（土）東京都にて行われる「ラリーチャレンジアクアクラス向け低電圧電気取扱講習」に宮前委員を派遣し、講習内容を部会に伝達してもらい、各部会委員からラリー関係者に伝達する。

また、同委員には部会長とともに当日同会場で開催される「全国 JMRC ラリー振興委員会」に部会長とともに出席する。

☐ 全員承認

4) 16 年度 JMRC シリーズ戦規定について

(1) タイヤについて

(案) 86 レース用タイヤを受け入れてはどうか。に対して。

● 共通規則書 第 2 章 第 16 条 6. の内容①および②を以下のように変更する。

「1) 一般市販タイヤで、日本自動車タイヤ協会（JATMA）の定める JATMA ラベリング規格に対応し、かつ接地面にタイヤを 1 周する連続した複数の縦溝を有していること」に、修正変更する。

☐ 全員承認

(2) チャレンジシリーズのクラス分けについて

(案) 今後に向けて検討し改善するため状況を正確にデータ取りするため、今期は主催者に委ねて試してみる。

● 共通規則書 第 2 章 第 18 条 2. JMRC 中部ラリーシリーズの内容を以下のように変更する。

「チャレンジシリーズでは気筒容積、駆動方式および異なる車両区分（RN、RJ、RB、RF、AE、RPN）によるクラス区分は行わないが、主催者の判断により各競技会においてクラス区分を設けることは制限しない」

☐ 全員承認

(3) 免許資格の免許について

(案) 正・副ドライバーともに当該車両に対応した免許を所持持たせておくこと、チャンピオンシリーズの 1 年には普通自動車 A T 限定免許を取得してからの年数も考慮してはどうか。

チャレンジシリーズについては年数について制限を加えないまとする。

☐ 全員承認

● 共通規則 第 2 章 第 13 条 JMRC ラリーチャンピオンシリーズ 4. 5. を 5.6. とし、3. について以下のように 2 分して 3.4. とする。

「3. クルーは参加車両を運転するのに有効な運転免許を所持していなければならない。

4. 参加締め切り時点において、普通自動車運転免許（A T 限定を含む）を取得後 1 年以上

経過していなければならない。」

- 共通規則 第2章 第13条 J M R C ラリーチャレンジシリーズ内の「上記 1.2.3.4.5.に下記（以下略）」を「上記 1.2.3.5.6.に下記（以下略）」に変更する。

（4）第22条「タイムコントロールについて」の名称について

（案）計時についてはすべてのコントロールが関わるので「コントロール」としてはどうか。

☐全員承認

- 共通規則 第2章 第22条 コントロールについて に変更。

（5）サービスの整備範囲について

（案）共通規則 第2章 第9条 に挿入し、以下繰り下げしてはどうか。

☐全員承認

- 共通規則 第2章 第9条 整備作業の範囲

整備作業の範囲は、以下通りとする。

- 1) タイヤの交換
- 2) ランプ類のバルブ交換
- 3) 点火プラグの交換
- 4) Vベルトの交換
- 5) 各部点検増締め
- 6) 上記以外の整備作業を行う場合、競技会技術委員長の許可を得て所定申告書を必ず提出すること。

（6）ロールバー規定について

（案）共通規則書 第2章 第16条 4. ①及び②を削除する。

☐全員承認

（7）記載の場所について

（案）J M R C 中部ラリーシリーズ規定があつての共通規則書であるからして記載および参照について以下のように変更を行う。

- ・共通規則書（第2章 第16条）参加車輛 の内容を J M R C 中部ラリーシリーズ戦規定 4. に移動し、共通規則書には「J M R C 中部ラリーシリーズ戦規定 4. 規定の通り」と記す。
- ・共通規則書（第2章 第18条）クラス区分 の内容を J M R C 中部ラリーシリーズ戦規定 5. に移動し、共通規則書には「J M R C 中部ラリーシリーズ戦規定 5. 規定の通り」と記す。
- ・共通規則書（第2章 第13条）参加資格 の内容を J M R C 中部ラリーシリーズ戦規定 7. に移動し、共通規則書には「J M R C 中部ラリーシリーズ戦規定 7. 規定の通り」と記す。
- ・J M R C 中部ラリーシリーズ規定を記載してから共通規則書を記載する。

☐全員承認

（8）その他 誤字や体裁の改善について

（案）ラリーシリーズカレンダー（案）、J M R C 中部ラリーシリーズ共通規則（案）、J M R C 中部ラリーシリーズ戦規定（案）の誤字・脱字・半角や全角等について修正を行う。

以上

次回の部会開催はM A S C 開催後に行う予定。

【詳細】

冒頭挨拶（会長より）

- ・ J M R C ラリー部会として、主催者サイドのラリーの取り決めではなく、選手・主催者・オフィシャル等の人達といろいろな方面の関わり、例えば T R D ラリーや他地区のラリーとの関わりを大切にしてい

て討議し、決定していきたい。

2) 部会議決方法についての確認について

- ・ 「 J A F 中部地域クラブ協議会運営規定第 5 条運営委員会の議決」に準ずる形態でどうか。

3) 全国 J M R C ラリー振興委員会への技術担当部会員派遣について

- ・ 第 1 回部会で話題になった事項について T R D をお願いをした。
- ・ 宮前委員には部会から交通費を出し部会長と共に出席をお願いした。

4) 16 年度 J M R C シリーズ戦規定について

(1) タイヤについて

- ・ ダンロップは 86 レース用タイヤについて、ラベリングをとって出している。旧型の 86 レース用タイヤについてはラベリングがなかった。
- ・ タイヤメーカーもルールの中で作っている以上、溝の少ないタイヤを一般的なラジアルタイヤとして出さないでくれと要求するのは不可能であろう。
- ・ 86 レース用タイヤについて、通称 S タイヤと比べて恐らく耐摩耗性は上がるだろうが、転がり抵抗が少ないことから場合によっては最高速も上がると考えられる。
- ・ ラベリングで分けていくしかないだろう。

(2) チャレンジシリーズのクラス分けについて

- ・ チャレンジクラスが存在意義としてはチャンピオンクラスの準備段階として、1 ステージ制のラリーで出ることに慣れてチャレンジにステップアップする機会としてほしい。
- ・ チャレンジシリーズを二つに分けると、成立台数や、有効戦数などが必要になってくるのではないだろうか。
- ・ 全く新しい人や他カテゴリから誘い込むきっかけにしたい。T G R は企業色が強くなってきているので、プライベーターで続けたいという人をチャレンジクラスに誘い込むことができるかもしれない。
- ・ 今年度のシリーズをというよりは今後変えていくためにまずはデータ取りをしたい。今年度は主催者の裁量に任せてみて、検討していくのはどうか。主催者の裁量で賞を与えることは良いことである。

(3) 免許資格の免許について

- ・ 最近 A T 免許から限定解除したという人で、解除から 1 年に満たない人がチャンピオンシリーズに出られないということでよいのか。
- ・ 運転免許をとって、公道を走るルールを理解している人ということを目的としたい。

(4) 第 22 条「タイムコントロールについて」の名称について

- ・ T C も S S スタートも S S フィニッシュも計時をとまなう「コントロール」であり、タイムコントロール (T C) だけに限定していないのではないのか。

(5) サービスの整備範囲について

- ・ 整備申告書を出す場合、出さない場合が明確になっていない。
- ・ 整備申告書の扱いについて、ルールとして技術のオフィシャル側にも周知する必要がある。

(6) ロールバー規定について

- ・過去、この規定が必要になった時に明文化して注意を促したと思われるが、クラス区分のルールと同じになっているので、今は敢えて書く必要がないのではないかな。
- ・これを消すことで、ルールを新しくした箇所や変更した箇所を強調して伝えることができるのではないかな。

(7) 記載の場所について

- ・「共通規則書」は「JMR C 中部ラリーシリーズ戦規定」であり、順序や参照する場所が違っているのではないかな。

部会会議での議決内容の承認順序についての説明

本来の進め方

部会の在り方や一年間のシリーズ規定などについて会議で話し合い、主催クラブや運営委員会の承認を得て公示（JMR CのWEB サイト）する。

- ・2016 シーズンのシリーズ規則については、昨年うちに決めておかなければならなかったが時間がないので、会議で話し合い運営委員会の承認を得て公示を行うことでよろしいかな。

☐ 全員賛成で了承